

3. 価値観および県の強み

(1) 生活に対する回答者の価値観

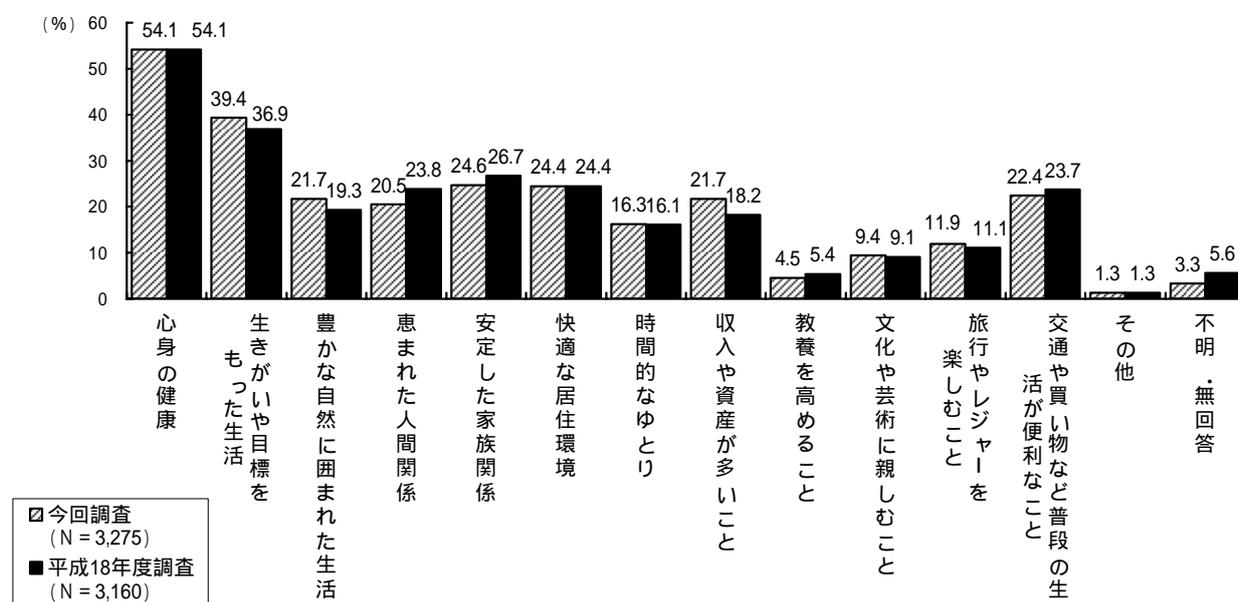
豊かさを感じるための要素

問 13 平成22年度は県政運営の基本方針である「滋賀県基本構想」の最終年度にあたることから、次期基本構想の方向性を検討するため、県民の皆さんの価値観や県の強みについておたずねします。あなたは、どのようなことが満たされれば豊かさを感じますか。(は3つまで)

54.1%が「心身の健康」が満たされれば豊かさを感じる

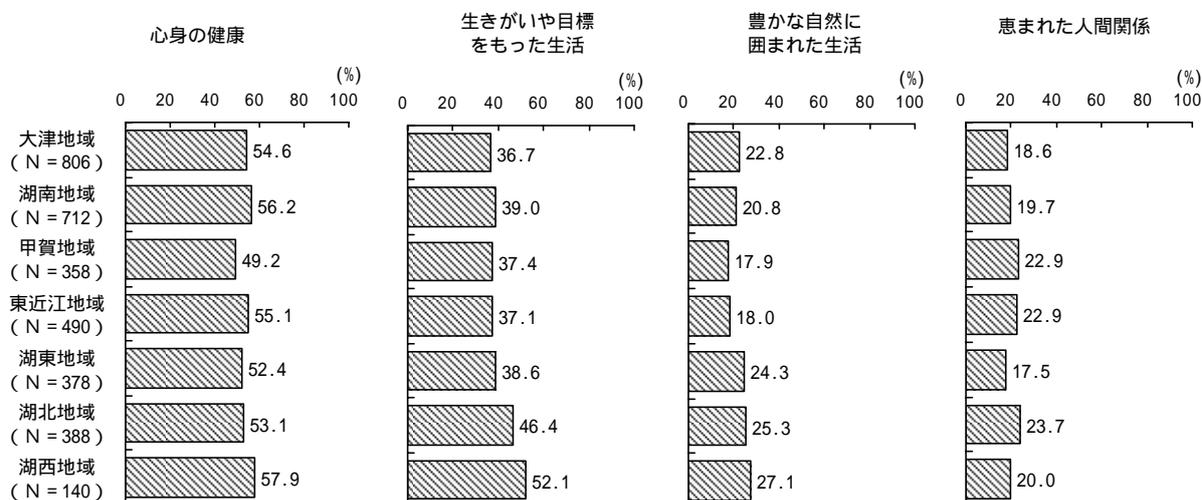
豊かさを感じるための要素については、「心身の健康」が最も高く54.1%で、次いで「生きがいや目標をもった生活」が39.4%、「安定した家族関係」が24.6%となっている。

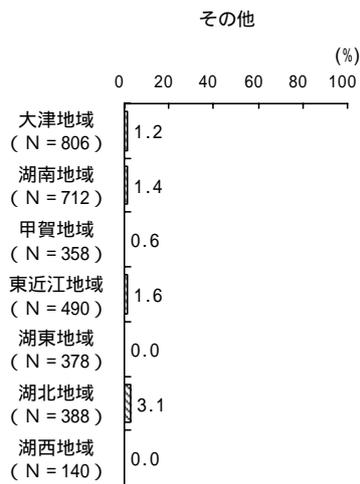
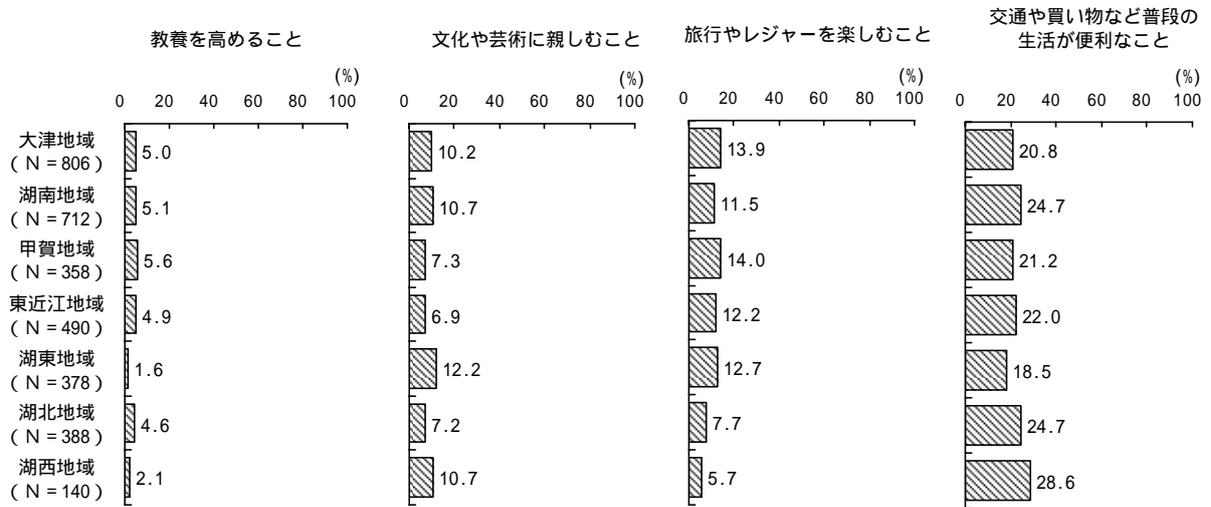
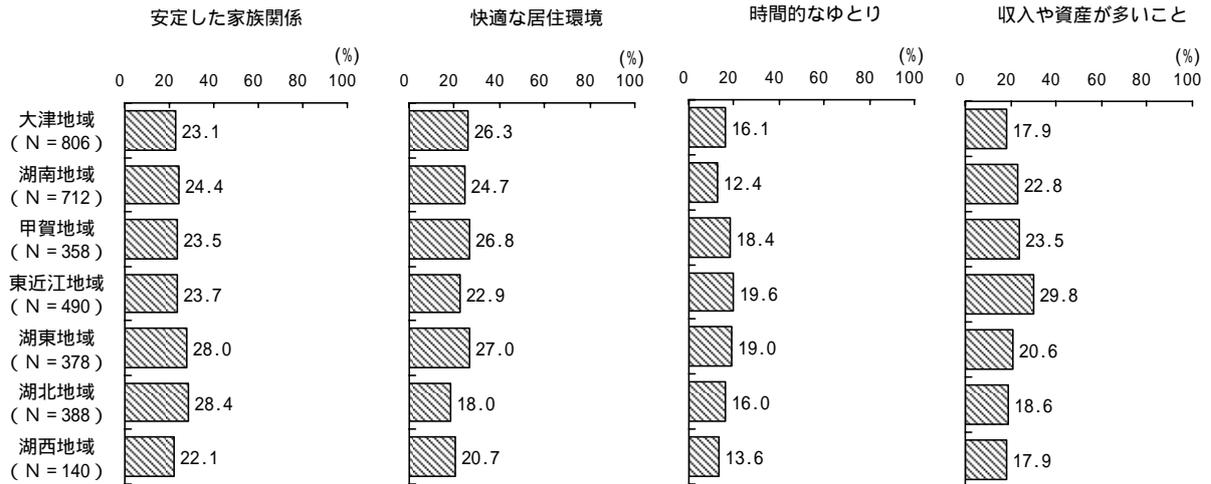
平成18年度調査と比較すると、「収入や資産が多いこと」が3.5ポイント、「生きがいや目標をもった生活」が2.5ポイントとそれぞれ高くなっている一方、「恵まれた人間関係」が3.3ポイント低くなっている。



【地域別】

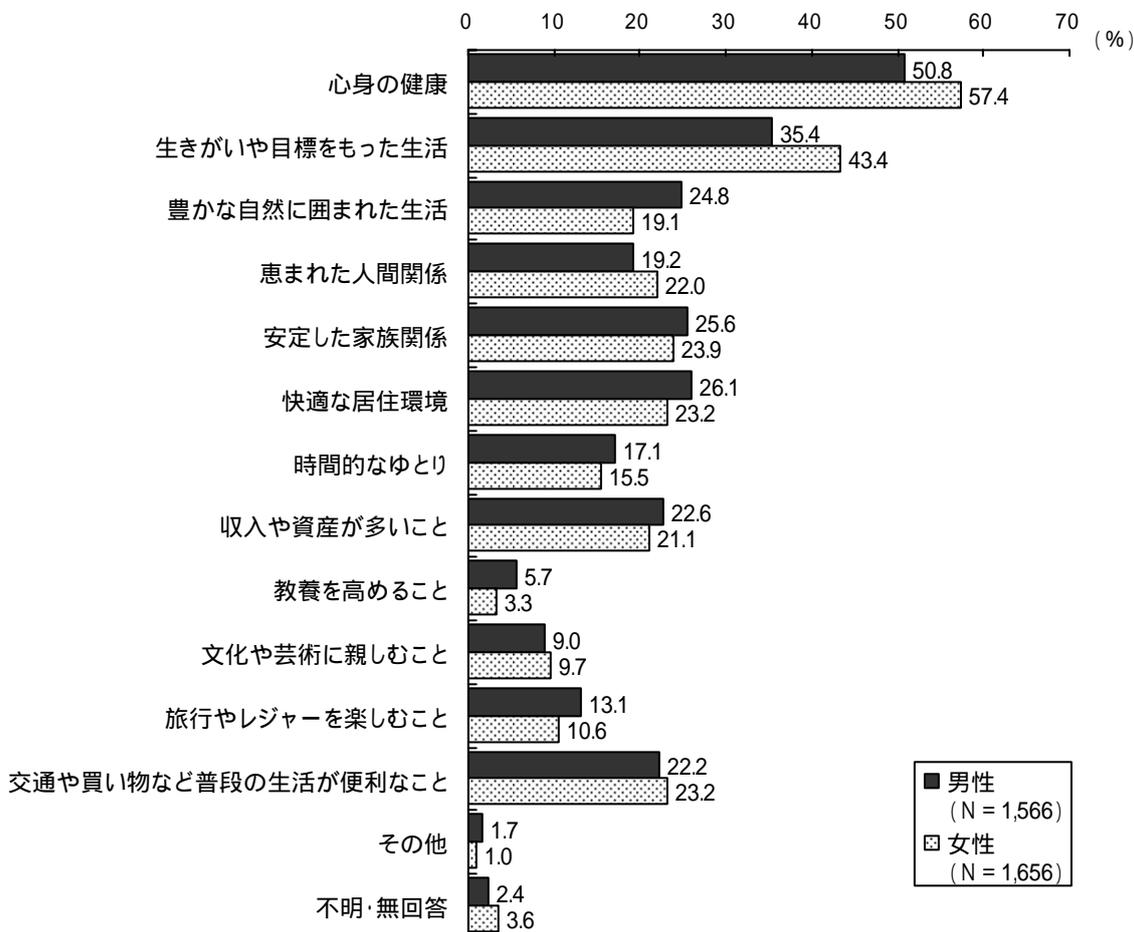
いずれの地域においても「心身の健康」が最も高く、湖西地域で57.9%と他の地域に比べ高くなっている。またこれに次ぐ項目も同様に、いずれの地域においても「生きがいや目標をもった生活」が続いている。





【性別】

男女とも「心身の健康」が最も高く、次いで「生きがいや目標をもった生活」が続いている。「心身の健康」では男性が50.8%、女性が57.4%となっており、男性に比べ女性の方が6.6ポイント上回っている。「生きがいや目標をもった生活」では男性(35.4%)に比べ女性(43.4%)の方が8.0ポイント上回っている。



【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても「心身の健康」が最も高くなっている。男性の70歳以上で64.1%、女性の70歳以上で62.4%とそれぞれ6割を超え、他の年代に比べ高い傾向がみられる。

次いで、男性では30歳代が「時間的なゆとり」(30.4%)、その他の年代は「生きがいや目標をもった生活」が続いている。女性では30歳代が「安定した家族関係」(37.3%)、その他の年代は「生きがいや目標をもった生活」が続いている。

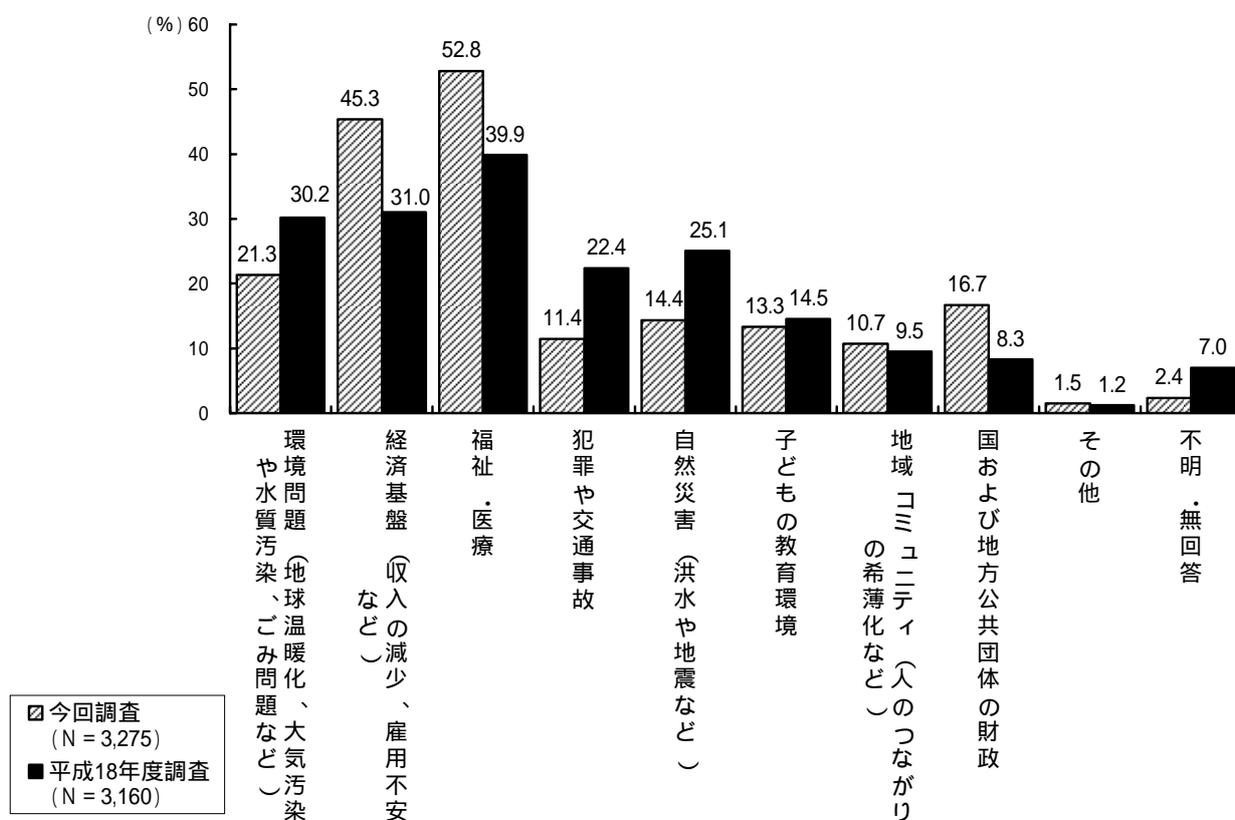
将来に対する不安要素

問 14 あなたは、将来についてどのようなことに不安を感じますか。(は2つまで)

将来に対する不安要素は「福祉・医療」が52.8%

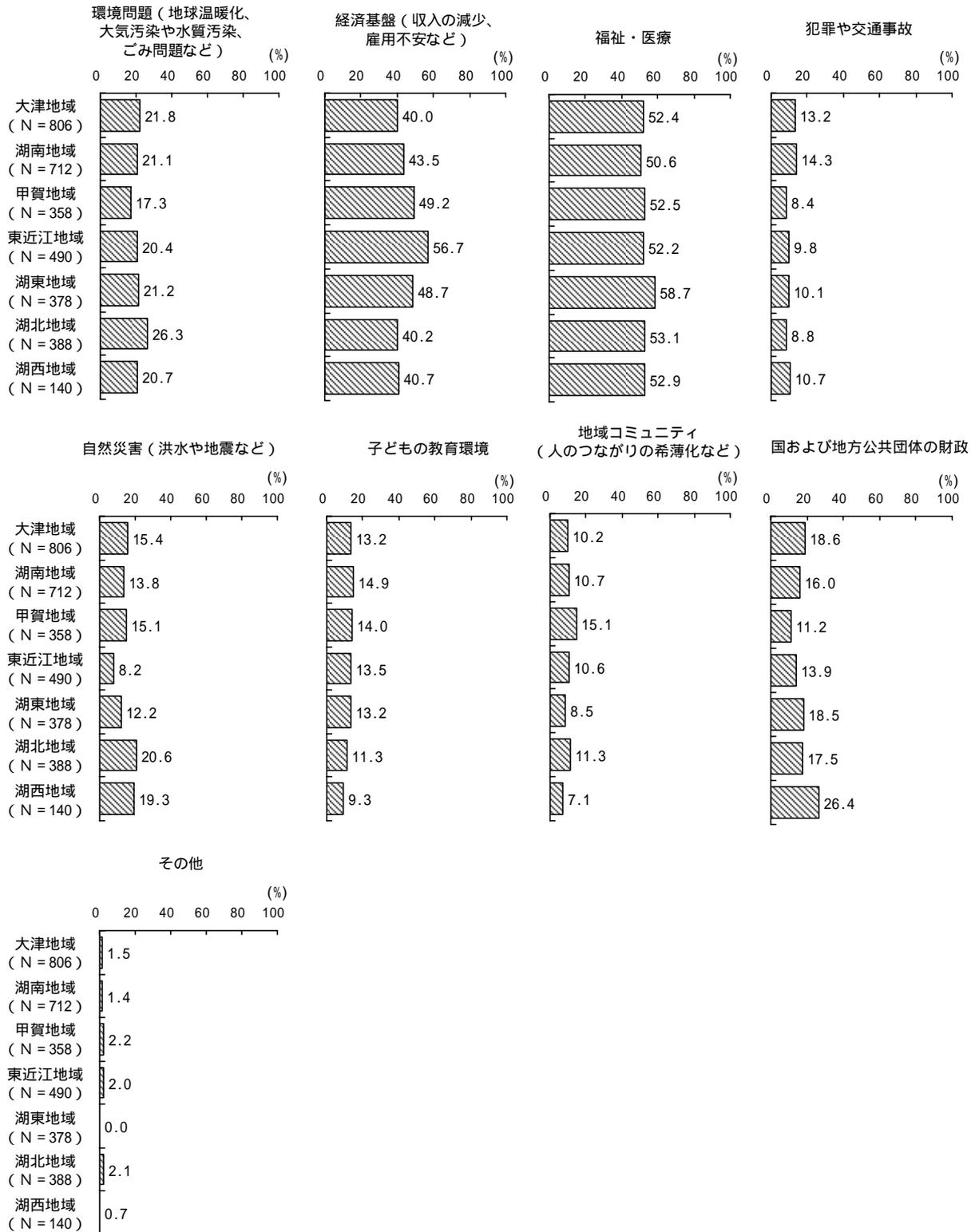
将来に対する不安要素については、「福祉・医療」が52.8%と最も高く、以下、「経済基盤(収入の減少、雇用不安など)」(45.3%)、「環境問題(地球温暖化、大気汚染や水質汚染、ごみ問題など)」(21.3%)の順となっている。

平成18年度調査と比較すると、「犯罪や交通事故」では11.0ポイント、「自然災害(洪水や地震など)」では10.7ポイント低くなっている。また、「経済基盤(収入の減少、雇用不安など)」では14.3ポイント、「福祉・医療」では12.9ポイント、それぞれ高くなっている。



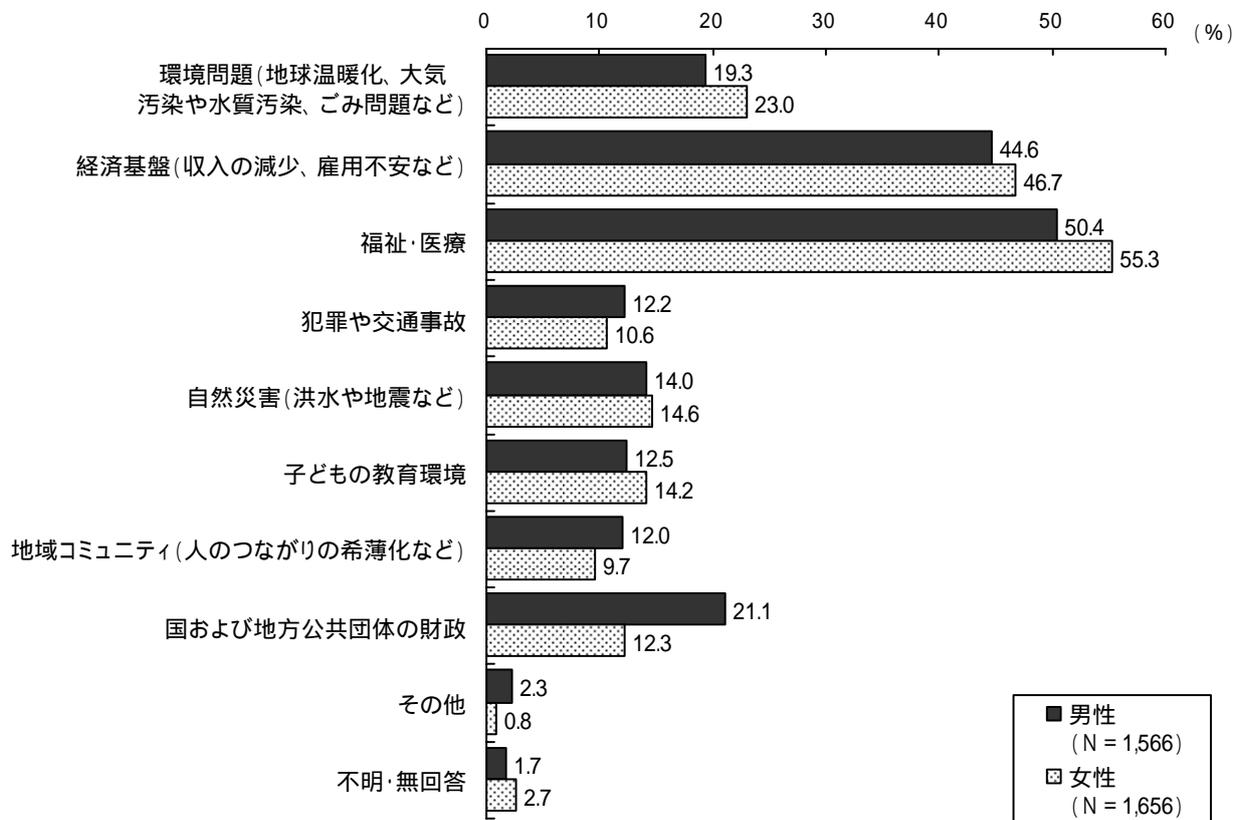
【地域別】

東近江地域を除くいずれの地域においても「福祉・医療」が最も高く、東近江地域は「経済基盤（収入の減少、雇用不安など）」が最も高い。「福祉・医療」はいずれの地域においても5割を超えている。



【性別】

男女とも「福祉・医療」が最も高く、いずれも半数を超えている。次いで、「経済基盤（収入の減少、雇用不安など）」と続き、以下、男性は「国および地方公共団体の財政」が、女性は「環境問題（地球温暖化、大気汚染や水質汚染、ごみ問題など）」が続いている。



【性・年代別】

男性では、20～50歳代で「経済基盤（収入の減少、雇用不安など）」が、60歳代以上で「福祉・医療」がそれぞれ最も高い。女性では、20～40歳代で「経済基盤（収入の減少、雇用不安など）」が、50歳代以上で「福祉・医療」がそれぞれ最も高くなっている。男女とも傾向として、高年齢層では「福祉・医療」の割合が高い。

(2) 滋賀県の強み

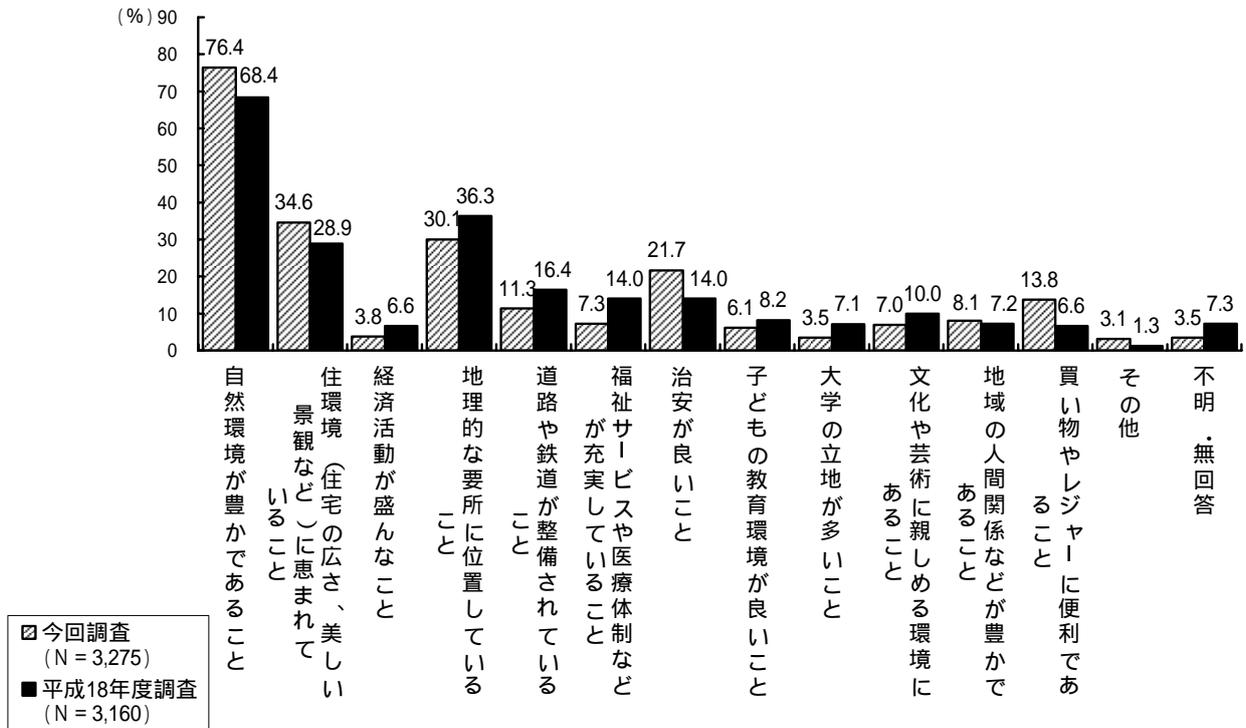
滋賀県の強み (セールスポイント)

問 15 あなたは、滋賀県の強み (セールスポイント) としてどのようなことをお考えですか。
(は3つまで)

滋賀県の強み (セールスポイント) は「自然環境が豊かであること」が 76.4%

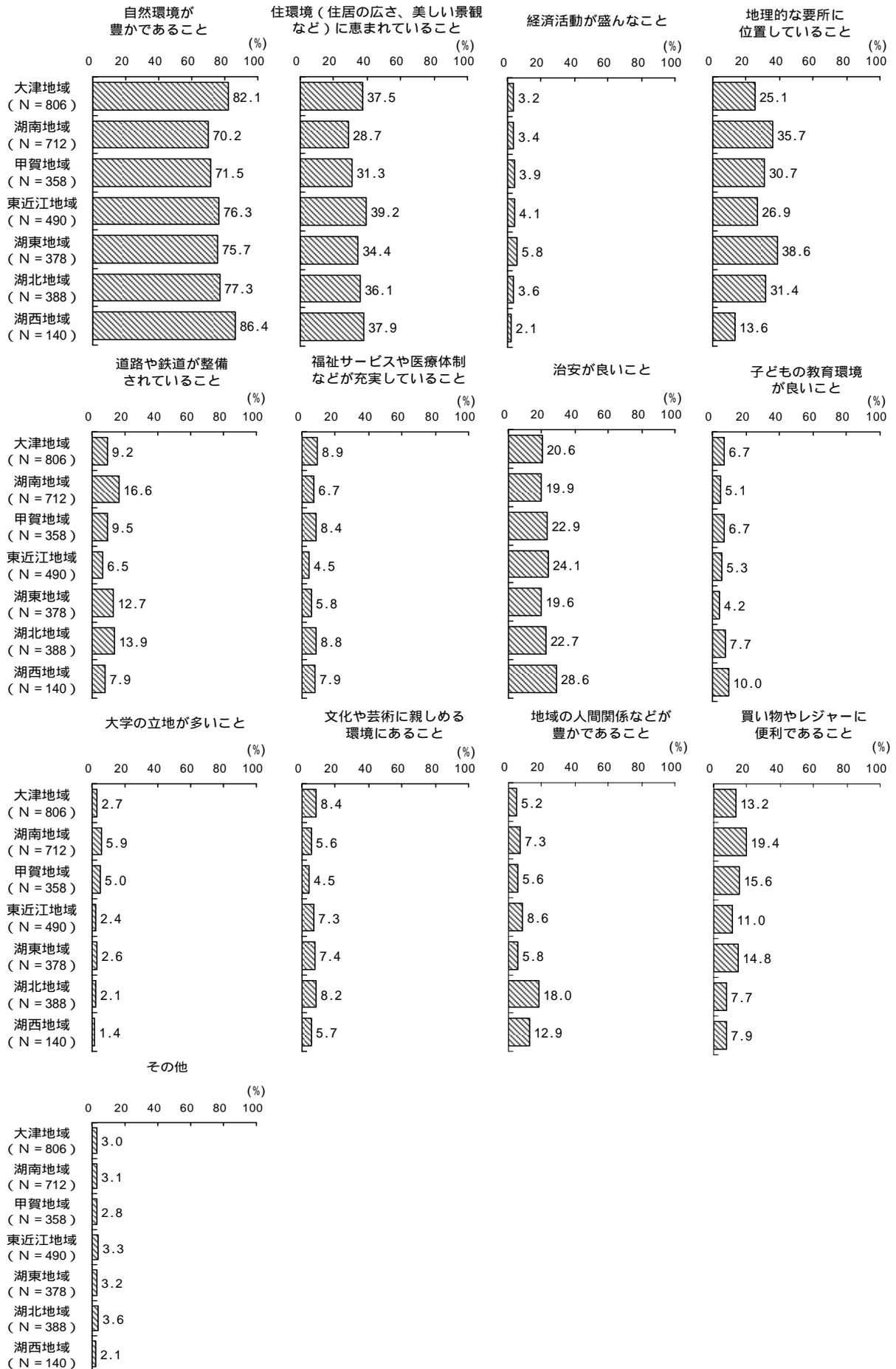
滋賀県の強み (セールスポイント) については、「自然環境が豊かであること」が 76.4% と最も高く、以下、「住環境 (住宅の広さ、美しい景観など) に恵まれていること」(34.6%)、「地理的な要所に位置していること」(30.1%) の順となっている。

平成 18 年度調査と比較すると、「自然環境が豊かであること」で 8.0 ポイント、「治安が良いこと」で 7.7 ポイント高くなっている。一方、「福祉サービスや医療体制などが充実していること」が 6.7 ポイント、「地理的な要所に位置していること」が 6.2 ポイント低くなっている。



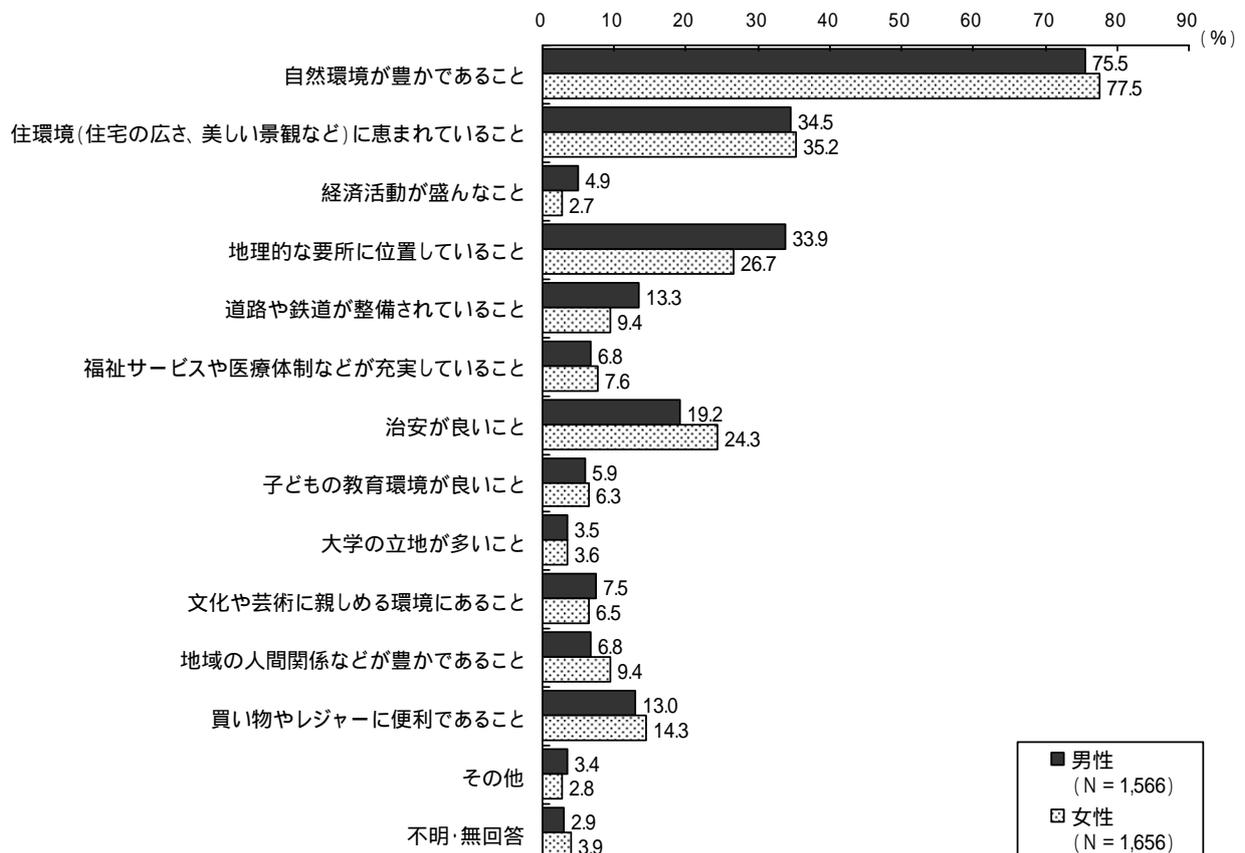
【地域別】

いずれの地域においても「自然環境が豊かであること」が最も高く、7割を超えている。なかでも湖西地域で 86.4% と他の地域に比べ高い。次いで、湖南・湖東地域では「地理的な要所に位置していること」、その他の地域では「住環境 (住宅の広さ、美しい景観など) に恵まれていること」が続いている。



【性別】

男女とも「自然環境が豊かであること」が最も高く、男性（75.5%）に比べ女性（77.5%）の方が2.0ポイント高くなっている。次いで同様に「住環境（住宅の広さ、美しい景観など）に恵まれていること」、「地理的な要所に位置していること」の順で続いており、「地理的な要所に位置していること」については男性が33.9%、女性が26.7%となっており、男性に比べ女性の方が7.2ポイント低く、傾向に差がみられる。



【性・年代別】

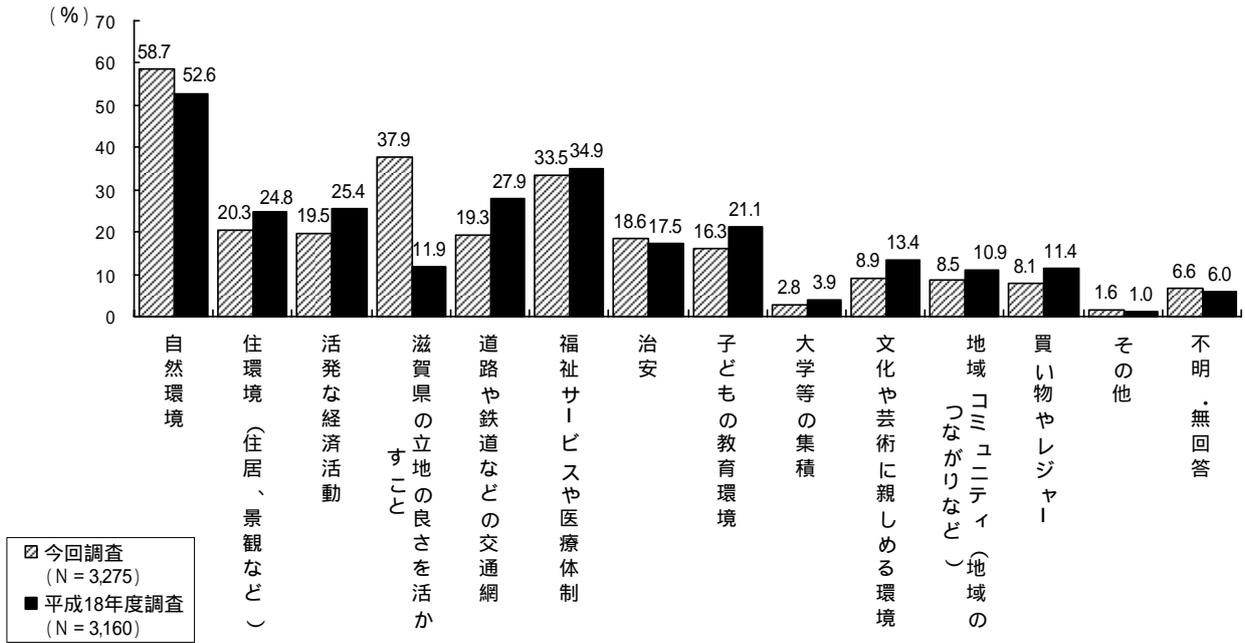
男女ともいずれの年代においても「自然環境が豊かであること」が最も高い。次いで、男性では60歳代以上で「地理的な要所に位置していること」が、20～50歳代で「住環境（住宅の広さ、美しい景観など）に恵まれていること」が続いている。また、女性では50歳代で「地理的な要所に位置していること」が、その他の年代で「住環境（住宅の広さ、美しい景観など）に恵まれていること」が続いている。

滋賀県の魅力を保つために重要なこと

問 16 あなたは、滋賀県の魅力を保っていくうえで、今後、どのようなことが重要になってくるとお考えですか。（ は3つまで）

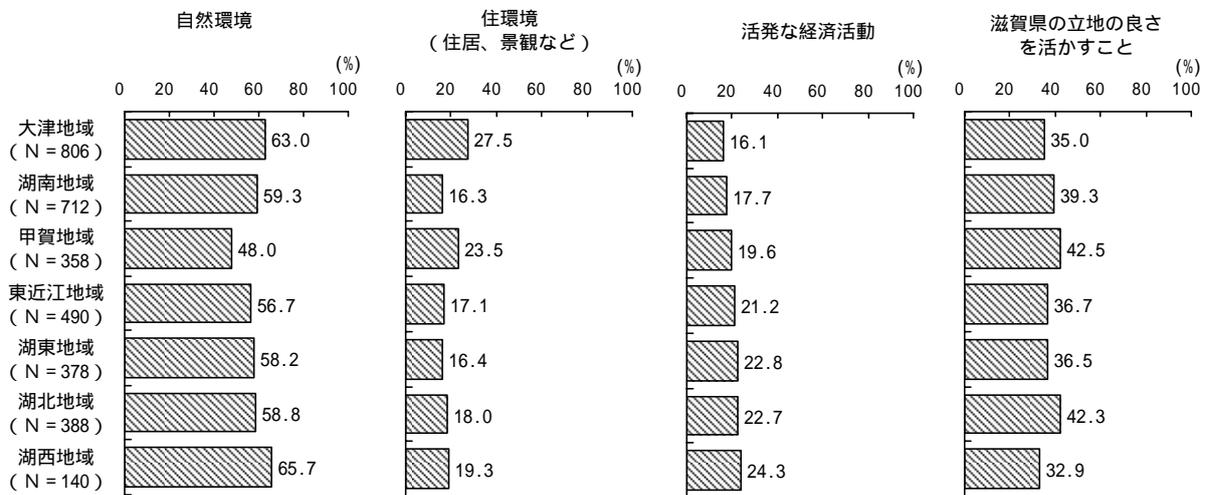
滋賀県の魅力を保つために重要なことは「自然環境」で58.7%

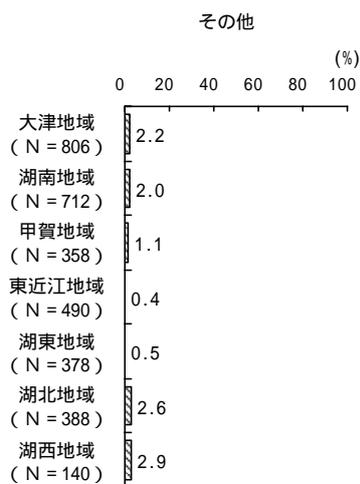
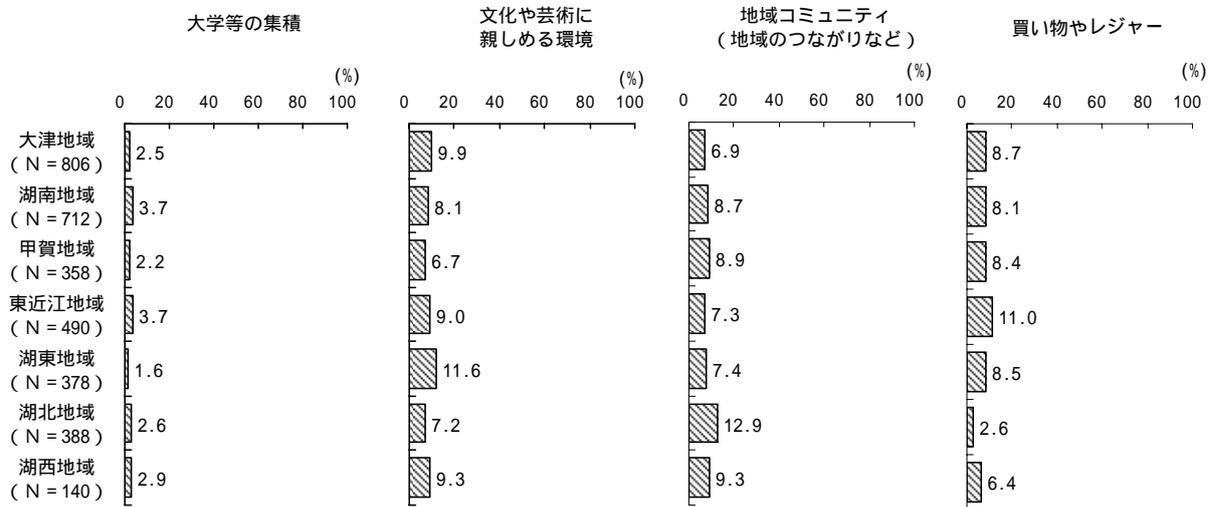
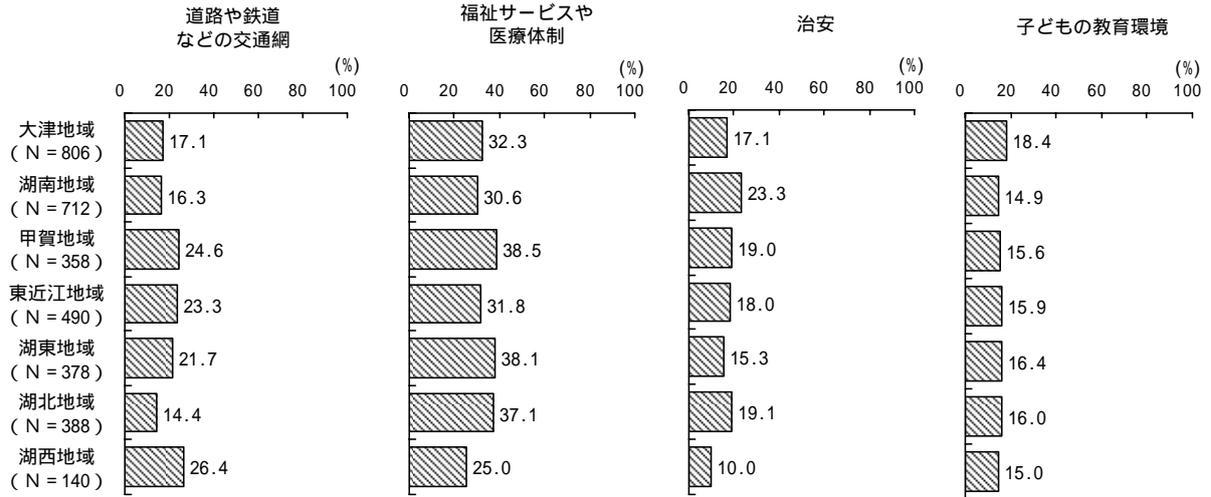
滋賀県の魅力を保つために重要なことについては、「自然環境」が58.7%と最も高く、以下、「滋賀県の立地の良さを活かすこと」(37.9%)、「福祉サービスや医療体制」(33.5%)の順となっている。



【地域別】

いずれの地域においても「自然環境」が最も高く、湖西地域で65.7%と他の地域に比べ高い傾向がみられる。次いで、湖東地域では「福祉サービスや医療体制」が、その他の地域では「滋賀県の立地の良さを活かすこと」が続いている。

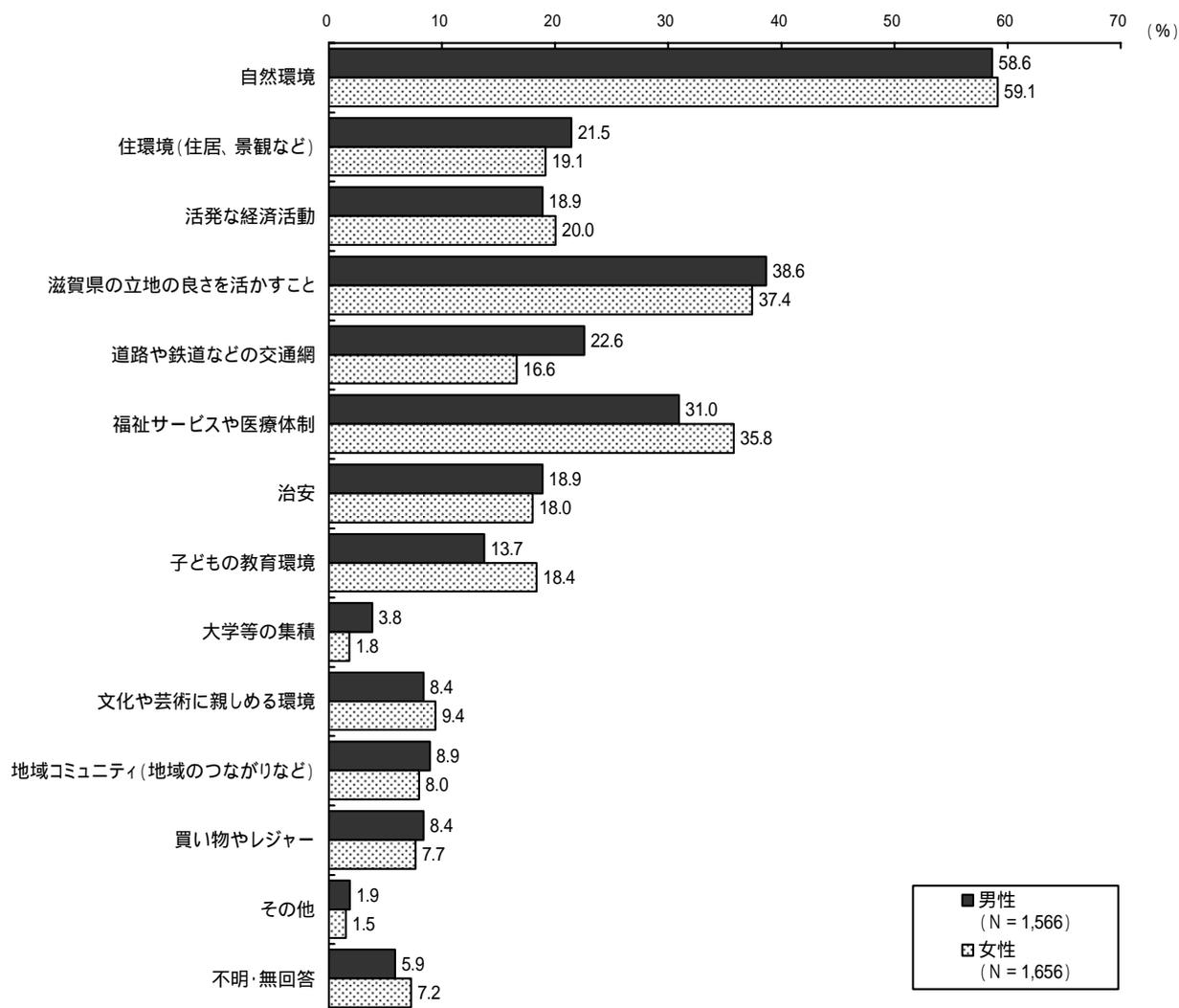




【性別】

男女とも「自然環境」が最も高く、男性（58.6%）に比べ女性（59.1%）の方が0.5ポイント高くなっている。次いで、「滋賀県の立地の良さを活かすこと」、「福祉サービスや医療体制」が続いており、男女とも順位は変わらない。

「福祉サービスや医療体制」では、男性（31.0%）に比べ女性（35.8%）の方が4.8ポイント高く、「道路や鉄道などの交通網」では、男性（22.6%）に比べ女性（16.6%）の方が6.0ポイント低くなっている。



【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても「自然環境」が最も高く、男性では50歳代以上、女性では60歳代以上でそれぞれ6割を超えている。次いで、男性ではいずれの年代においても「滋賀県の立地の良さを活かすこと」が、女性では30・50歳代は「福祉サービスや医療体制」が、その他の年代では「滋賀県の立地の良さを活かすこと」がそれぞれ続いている。